

第25回

あらすじ：

ベラルーシの、森に囲まれた小さな村。
住民たちは毎日、幾度も、泉に水を汲みに訪れる。
チェルノブイリ原発の事故により、
風下に位置していたその村は放射能に汚染され、
住民たちの多くが街に退去した。
だが、老人たちは村を去らなかった。

冬が来て、春が来て、夏が来て、
りんごが実り、ジャガイモが実る。
そこにある人間の暮らし、過去からずっと続いてきた生活、
人間が「生きる」ということ。

だが、その「生きる」は未来に引き継がれない。
彼らがすべて死に絶えた時、この大地だけが残るだろう。

冬が来て、春が来て、夏が来て、
泉の水は湧き続けるだろう。

大地は覚えているだろうか、
そこにこの地を愛した人間たちがいたことを…

環^{くわおん}on映画会

『アレクセイと泉』



開催日時：2011年5月27日(金)
17:30～(17:15～開場)

上映映画：『アレクセイと泉』
(本橋成一監督 2002年 104分)

案内人：岡真理先生(現代アラブ文学)
テーマ：「大地にとって人間とは何か」

わおん
環on映画会は、
“話せる図書館”環onを利用し
人環の教員がおすすめ映画を紹介、
参加者みんなで感想を語りあう
月例のイベントです

参加無料 事前申込不要
学内・学外を問わず
どなたでもご参加いただけます



お問い合わせは京大 人環・総人図書館
075-753-6537 / waon.movie@gmail.com